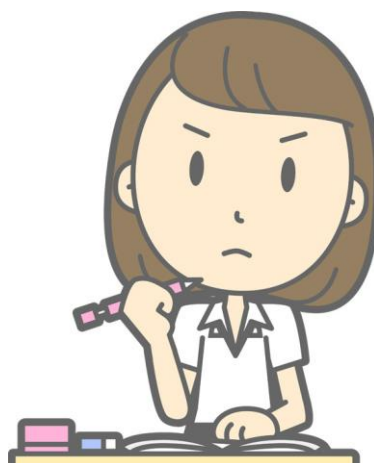


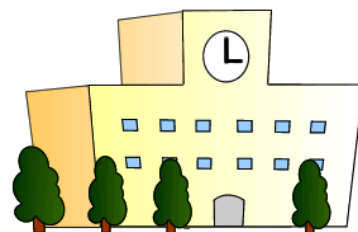
令和7年度 河内長野市立東中学校

学 習 の し お り



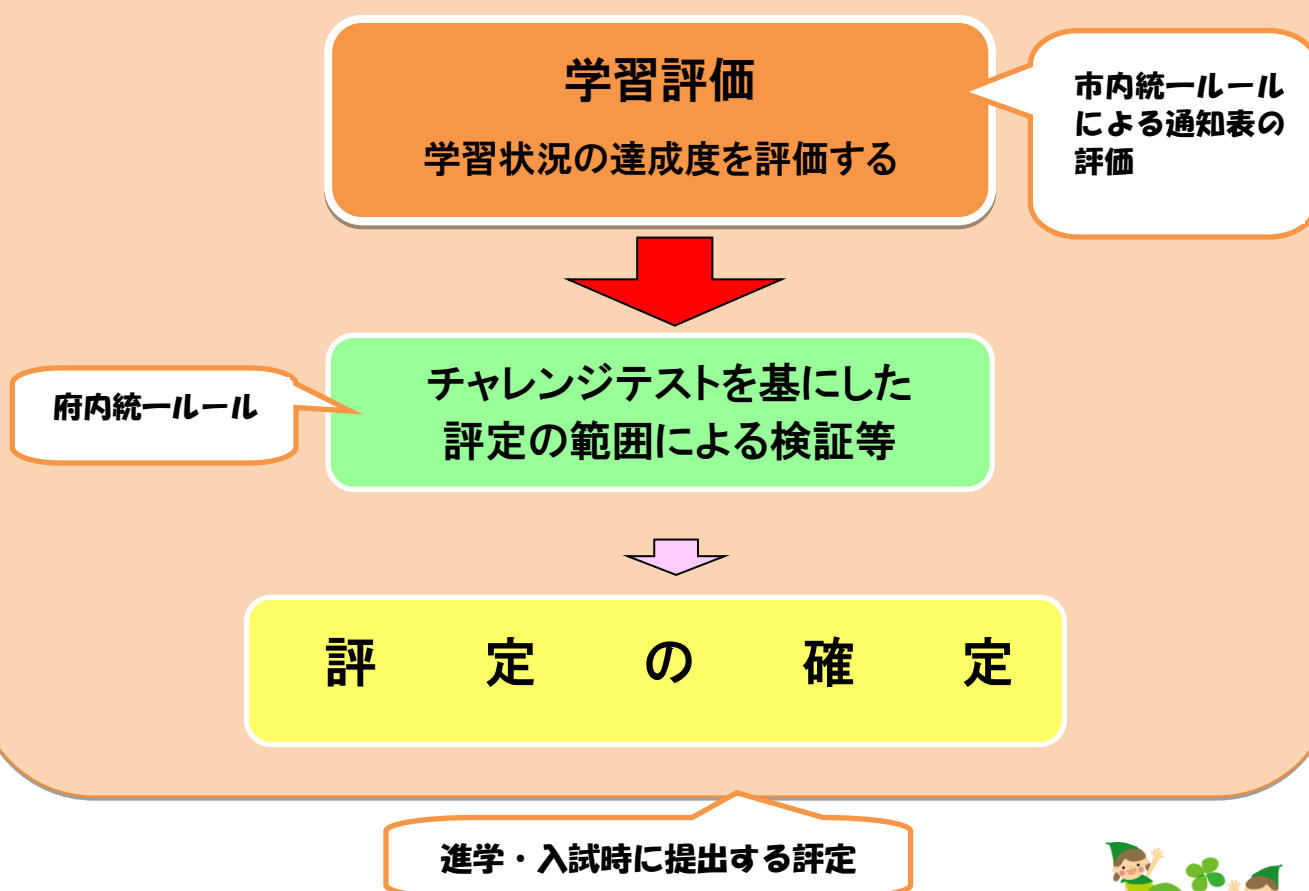
中学校の評価について

大阪府教育委員会は、平成28年度から、進学・入試時に提出する各教科の評定は、「目標に準拠した5段階の評価(いわゆる絶対評価)」と変更しました。本校も、学習指導要領（文部科学省が各教科や学年で学ぶべきことを示したもの）の目標をどの程度実現できたのか、その実現状況（達成率）を見る評価をおこなっています。



I 進学・入試時に提出する評定

それぞれの学校でつける評価がそのまま進学・入試時に活用されるわけではありません。各校で絶対評価による評定を付ける時に、出来るだけ公平性を期するため、大阪府教育委員会は、各中学校等が決定する進学・入試時に提出する評定について、府内統一ルールを定めています。



Ⅱ 通知票に記載される観点別評価と評定

☆市内統一ルール

観点別評価（A・B・C）

- 【 A 】 十分達成できていると判断されるもの （＝目標の75％に達しているもの）
- 【 B 】 概ね達成できていると判断されるもの （＝目標の45％に達しているもの）
- 【 C 】 努力を要すると判断されるもの （＝目標の45％に達していないもの）

評 定（5段階）

- 【 5 】 十分達成できていると判断されるもののうち、特に程度が高いもの
（＝目標の85％に達しているもの）
- 【 4 】 十分達成できていると判断されるもの （＝目標の75％に達しているもの）
- 【 3 】 概ね達成できていると判断されるもの （＝目標の45％に達しているもの）
- 【 2 】 努力を要すると判断されるもの （＝目標の20％に達しているもの）
- 【 1 】 一層努力を必要すると判断されるもの （＝目標の20％に達していないもの）

※通知票の1・2学期の欄にはその学期の評価が、3学期の欄には1年間を総合した評価が記載されます。

Ⅲ 学力の3要素

どの教科でも「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を柱として評価をします。

<学力の3要素>

～新しい時代に必要となる
資質・能力の3つの柱～

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力

生きて働く
知識・技能

学 力

学びを人生や社会に生かそうとする
主体的に学習に取り組む態度

国語科

Ⅰ. 評価規準

- I 「知識・技能」：国語の知識が豊富で、適切に使うことができる。
- II 「思考・表現・判断」：自分の考えや気持ちを話し、相手の考えや気持ちを聞ける。
正しく書き、表現できる。正しく読み、内容を理解できる。
- III 「主体的に学習に取り組む態度」：意欲的に授業に参加し、規律を守り、学習に取り組める。

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	I	II	III
提出物の内容・授業の取り組み			○
暗唱テスト・朗読・聞き取りテストなど		○	○
授業プリント（ノート）・作文・詩歌創作など		○	○
漢字小テスト、文法小テストなど	○		
定期テスト・実力テスト	○	○	

3. 授業に必要な持ち物

1 年生	2 年生	3 年生
教科書・ノート・漢字学習 国語の学習（主に宿題）	教科書・国語ファイル・漢字学 習・国語の学習（主に宿題）	教科書・ノート・漢字学習・文 法書・資料集 整理と対策（主に家庭学習）

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

国語力の基礎は「語彙力（言葉をどれだけ知って、使えているかの能力）」です。これを増やす一番の近道をお教えします。自分が知らない言葉を目にするときがあります。例えば、読んでいる物語に「怖気づく」という言葉が出てきたとします。（話の流れでなんとなく意味が分かったとしても）面倒くさがらずにその言葉の意味と、使い方（用法）を調べて、自分でも日常で使ってみるようにしましょう。

本を読む速度は遅くなりますが、語彙力は確実に育ちます。

「一語一語に興味を持ちながら、目指せ！！1ヶ月1冊」

5. 各学年の学習計画

	1 年	2 年	3 年
4 月	朝のリレー (2) 野原はうたう (3) 言葉にであうために (4)	見えないだけ (3) アイスプラネット (4)	世界はうつくしいと (4) 握手 (4) 書写 (2)
5 月	はじまりの風 (4) 情報を整理して書こう (3) 漢字 I (1) 比較・分類 (2) 漢字の部首 (2) 比喩で広がる言葉の世界 (3)	文法① (6) 枕草子 (4) 熟語の構成 (1) 書写 (2)	学びて時にこれを読む (4) 作られた物語を超えて (4) 具体化・抽象化 (2) 熟語の読み方・漢字に親しもう (2) 書写 (2)
6 月	ダイコンは大きな根 (5) ちょっと立ち止まって (5) 星の花が降るころに (3) 意見と根拠 (2)	クマゼミ増加の原因を探る (5) 短歌に親しむ (5) 言葉の力 (3) 類義語・対義語・多義語 (1)	論理の展開を意識して書こう (4) 俳句の可能性 (2) 俳句を味わう (2) 和語・漢語・外来語 (1) 書写 (2)
7 月	文法 I (2) 大人になれなかった弟たちに (6) 書写 (1) 詩の世界 (3) スピーチしよう (3)	文法② (6) 字のない葉書 (4) 書写 (2)	書写 (2) 語彙を豊かに (1) 私の一冊を探しに行こう (1) 実用的な文章を読もう/報道文を比較して読もう (1) 慣用句・ことわざ・故事成語
8 月	ふるさと作文	読書感想文 人権作文	読書感想文 人権作文
9 月	「言葉」をもつ、シジュウカラ (4) 根拠を明確にして書こう (5) 文法 II (2) 聞き上手になる (2) 漢字・言葉 2 (3)	モアイは語る (5) ヒューマノイド (6) 書写 (2)	挨拶 (2) 故郷 (6) 書写 (2)
10 月	いろは歌・古典の世界・竹取物語 (9) 根拠を示す (2) ディスカッション (4)	平家物語 (6) 徒然草 (4) 漢詩 (6) 書写 (2)	複数の意見を読んで、考えよう (6) 文法「ない」の違いがわからない (2) 書写 (2)
11 月	不便を見つめ直す (4) 自分の文章を書く (2) 少年の日の思い出 (6) 今を生きる言葉 (2)	君は「最後の晩餐」を知っているか (4) 鑑賞文 (2) 書写 (2)	初恋 (2) 和歌の世界／古今和歌集仮名序／君待つと (6) 夏草 (4) 書写 (2)
12 月	考える人になろう (3) 読書案内 (1) 文法 III (4) 書写 (2)	同じ訓・同じ音を持つ漢字 (2) 「自分らしさ」を認め合う社会へ (2) 月夜の浜辺 (3) 書写 (2)	それでも、言葉を (5) 合意形成に向けて話し合おう (2) ないの違いがわからない (1)
1 月	構成を考えて書こう (4) 漢字に親しむ (2) 様々な表現技法 (3) 随筆二編 (2) 書写 (2)	百人一首 (2) 走れメロス (4) 構成や展開を工夫して書こう (2) 書写 (2)	温かいスープ (2) わたしを束ねないで (2) 入試対策 (3) 書写 (1)
2 月	坊ちゃん (2) 書体の特徴 (2) 構成や描写を工夫して書こう (2) 書写 (2)	話し言葉と書き言葉 (2) 形 (3) 送り仮名 (1) 書写 (2)	入試対策 (10)
3 月	一年間を振り返る (3) 学習を振り返る (3)	文法⑤ (4) 敦盛の最期 (6) 書写 (2)	古文を中心とした中学校のまとめ (5)

社会科

Ⅰ. 評価規準

- I 「知識・技能」：資料を適切に読み取ることができ、社会的事象についての知識があり、理解できる。
- II 「思考・判断・表現」：社会的な思考・判断ができ、論述できる。
- III 「主体的に学習に取り組む態度」：意欲的に授業に参加し、規律を守り、学習に取り組める。

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	I	II	III
授業の取り組みや提出物の内容など	○	○	○
授業中の作業や調べ学習など	○	○	○
定期テスト・実力テスト	○	○	

3. 授業に必要な持ち物や課題等

	1 年生	2 年生	3 年生
授業に必要なもの	虎の巻（ノート替わり） タブレット・（教科書） 地図帳・色鉛筆	教科書・地図帳 ファイル タブレット	教科書（歴史・公民） ファイル タブレット
課題等	社会の学習 地理Ⅰ 社会の学習 歴史Ⅰ	単元ポートフォリオ 社会の学習 地理Ⅰ 社会の学習 歴史Ⅱ、Ⅲ	歴史の学習 2. 3 公民の学習 3年間の総整理問題集

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

<家庭での学習5箇条>

- ①『教科書をくり返し読もう』：中学生が学ぶべき内容は教科書の内容が中心です。教科書をしっかり読み、その内容と流れをつかみましょう。
- ②『用語を整理しよう』：重要語句やキーワードを覚えましょう。
- ③『グラフ・図・地図などの資料に慣れよう』：様々な資料を読み取ることができるようになるのが社会科の技能の一つです。慣れてくると各資料から様々なことがわかるようになります。
- ④『ニュースに関心を持とう』：世の中の様々な出来事に関心を持とう。テレビの情報番組やクイズ番組、新聞や本などの書物、インターネットなどから学ぶこともたくさんあります。
- ⑤『復習を心がけよう』：中学校の社会科では「地理」「歴史」「公民」の三つの分野を学習します。各分野ともその内容は幅広く、テスト前だけ気合を入れて勉強しても手に負えません。定期的に行われる実力テストではいくつかの分野にまたがった問題が出題されることもあります。3年間学習を積み重ねる中で、時々過去の学習内容を振り返りましょう。

5. 各学年の学習計画

	1年		2年		3年
4月	世界の姿(6)		身近な地域を調べてみよう(5)	武士による支配の完成(5)	帝国主義と日本(5) アジアの強国の光と影(5) 第一次世界大戦と民族独立の動き(6)
5月	日本の姿(6)	歴史の流れと時代区分(3)			
6月	人々の生活と環境(9)	人類の登場から文明の発生へ(6)	日本の地域的特色(12)	天下泰平の世の中(5)	高まるデモクラシーの意識(6) 戦争に向かう世論(6) 第二次世界大戦の惨禍(6)
7月		東アジアのなかの日本(6)	九州地方(6)	社会の変化と幕府の対策(5)	
8月			中国・四国地方(6)	欧米諸国における「近代化」(5)	敗戦から立ち直る日本(5) 世界の多極化と日本の成長(5) これからの日本と世界(5)
9月	アジア州(8)	中国にならった国家づくり(7)	中部地方のようす(6)	開国と幕府の終わり(5)	私たちが生きる現代社会(8) 個人の尊重と日本国憲法(19)
10月		展開する天皇・貴族の政治(4)	関東地方のようす(6)	明治政府による「近代化」の始まり(4)	
11月	ヨーロッパ州(7)	武士の世の始まり(6)		近代国家への歩み(5)	国民主権と日本の政治(19)
12月	アフリカ州(4)	武家政権の内と外(5)	東北地方のようす(6)		
1月	北アメリカ州(6)	人々の結びつきが強まる社会(6)	北海道地方のようす(5)	帝国主義と日本(4)	市場のはたらきと経済(19)
2月	南アメリカ州(5)	大航海によって結びつく世界(5)	近畿地方のようす(6)	アジアの強国の光と影(4)	現代の国際社会と課題(15)
3月	オセアニア州(4)		地域の在り方(5)		総まとめ(18)

数学科

Ⅰ. 評価規準

- I 「知識・技能」：数学的概念や性質についての知識があり、それらの性質や公式等を利用し、問題を解くことができる。
- II 「思考・判断・表現」：問題に対して、論理的に説明することができる。
- III 「主体的に学習に取り組む態度」：意欲的に授業に参加し、規律を守り、学習に取り組める。

2. 評価方法

	評価の観点		
評価の材料	I	II	III
提出物・授業の取り組み	○	○	○
定期テスト・実力テスト・チャレンジテスト	○	○	
小テスト(しない学期もあり)	○	○	○

3. 授業に必要な持ち物

1 年生	2 年生	3 年生
・教科書 ・ファイル（授業用） ・ファイル（リポート用） ・コンパス ・直定規	・教科書 ・ノート ・ファイル ・コンパス ・リポート ・直定規 ・のり ・chromebook	・教科書 ・ダッシュ ・ファイル ・リポート ・コンパス ・chromebook ・直定規

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

- ・毎日数学の問題に触れることが大切！コツコツ積み上げることが地道だけど一番の近道！！
- ・問題をするときには、途中の式や考え方をきちんと書くクセをつけよう！
- ・文章問題や考える問題をなるべくたくさんやろう！諦めたら未来は切り拓けない！
- ・間違えた問題は、どこがダメだったのか“自分で見つける”“振り返る”“やり直す”ことが大事！参考になるのは教科書です！
- ・学習の最大の敵は何か？⇒それは「知っていると思っている自分」である！
- ・まずは数学に興味を持つこと。1 つでもいいので、好きなところを探してみよう！

5. 各学年の学習計画

	1 年	2 年	3 年
4 月	算数から数学へ(2) 数の世界を広げよう(24)	文字式を使って説明しよう (15)	文字式を使って説明しよう (19)
5 月	数の世界を広げよう 数学のことばを身につけ よう(20)	文字式を使って説明しよう 方程式を利用して問題を 解決しよう(15)	文字式を使って説明しよう 数の世界をさらにひろげよう (18)
6 月	数学のことばを 身につけよう	方程式を利用して問題を 解決しよう(11)	数の世界をさらにひろげよう
7 月	数学のことばを身につけ よう 未知の数の求め方を 考えよう(19)	方程式を利用して問題を 解決しよう(11) 関数を利用して問題を解決 しよう(18)	方程式を利用して問題を 解決しよう(16)
8 月			
9 月	未知の数の求め方を 考えよう 数量の関係を調べて問題 を解決しよう(21)	関数を利用して問題を解決 しよう(11)	方程式を利用して問題を 解決しよう 関数の世界をひろげよう (17)
10 月	数量の関係を調べて問題 を解決しよう(11)	図形の性質の調べ方を 考えよう(17)	関数の世界をひろげよう 形に着目して図形の性質を 調べよう(23)
11 月	数量の関係を調べて問題 を解決しよう(11) 平面図形の見方をひろげ よう(21)	図形の性質の調べ方を 考えよう(11)	形に着目して図形の性質を 調べよう 円の性質を見つけて証明 しよう(10)
12 月	平面図形の見方を広げ よう(11)	図形の性質を見つけて証明 しよう(23)	三平方の定理を活用しよう (13) 集団全体の傾向を推測しよう (6)
1 月	立体の見方を広げよう (21)	図形の性質を見つけて証明 しよう(11)	集団全体の傾向を推測しよう 入試問題演習(18)
2 月	立体の見方を広げよう データを活用して判断 しよう(12)	図形の性質を見つけて証明 しよう(11) 起こりやすさをとらえて 説明しよう(11)	入試問題演習
3 月	データを活用して判断 しよう(11)	起こりやすさをとらえて 説明しよう(11) データを比較して判断しよう (6)	入試問題演習

理科

Ⅰ. 評価規準

- Ⅰ「技能・知識」： 技能、表現、まとめる力、理科的な知識、理解を持っている。
- Ⅱ「思考・判断・表現」： 理科的な考え方、発想力がある。見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察して判断することができる。
- Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」： 意欲的に授業に参加し、規律を守り、学習に取り組める。

2. 評価方法

	評価の観点		
評価の材料	I	II	III
提出物・授業の取り組み・授業プリント			○
定期テスト	○	○	
実験レポート	○	○	○
小テスト	○	○	

3. 授業に必要な持ち物

1年生	2年生	3年生
教科書 ノート 授業プリント	教科書、ワーク ノート 授業プリント	教科書、ワーク ノート（授業プリント） タブレット

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

①「なんでだろう」 ⇒ 日常生活の色々な現象に疑問や興味を持つ。

②「へえ～」「なるほど」 ⇒ 納得するまで追求する。

※①で終わらず、②までやること！！

とくに・・・

○ 実際に見たり、触ったりすることでより身近に感じながら勉強しよう！

○ テストの点を上げるには、たくさん問題を解いて、気になる所はとことんやりましょう！

○ 力を伸ばすためには、家庭学習（復習）も必ずやろう！

5. 各学年の学習計画

	1 年	2 年	3 年
4 月	自然の中にあふれる生命 (9)	物質の成り立ち (11)	生物のふえ方と成長 (9) 水溶液とイオン (8)
5 月	植物の特徴と分類 (9) 動物の特徴と分類 (10)	物質の表し方 (5) さまざまな化学変化 (10)	遺伝の規則性と遺伝子 (6) 生物の種類の多様性と進化 (4)
6 月	いろいろな物質とその性質 (7)	化学変化と物質の質量 (8)	電池とイオン (8)
7 月		生物の体をつくるもの (6)	酸・アルカリと塩 (10)
8 月		植物の体のつくりとはたらき (11)	力の合成と分解 (7)
9 月	いろいろな気体とその性質 (7) 水溶液の性質 (7) 物質のすがたとその変化 (7)	動物の体のつくりとはたらき (14)	物体の運動 (10) 地球から宇宙へ (5)
10 月	光による現象 (9) 音による現象 (6) 力による現象 (10)	動物の行動のしくみ (8) 地球を取り巻く大気のように (5)	仕事とエネルギー (8) 多様なエネルギーとその移り変わり (3) エネルギー資源とその利用 (4)
11 月		大気中の水の変化 (8) 天気の変化と大気の動き (6)	自然界のつり合い (5) さまざまな物質の利用と人間 (5) 地球から宇宙へ (5)
12 月		大気の動きと日本の四季 (11)	太陽と恒星の動き (8) 月と金星の動きと見え方 (5)
1 月	身近な大地 (5)	電流の性質 (18)	科学技術の発展 (3) 人間と環境 (8)
2 月	ゆれる大地 (6) 火をふく大地 (7)	電流の正体 (9)	持続可能な社会をめざして (4) 太陽と恒星の動き (9)
3 月	語る大地 (6)	電流と磁界 (10)	月と金星の動きと見え方 (7)

英語科

Ⅰ. 評価規準

- Ⅰ「知識・技能」：英語で読んだり聞いたりして内容を理解できる。
- Ⅱ「思考・判断・表現」：英語で自分の考えや気持ちを表現できる。
- Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」：意欲的に授業に参加し、規律を守り、学習に取り組める。

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
提出物、授業での取り組み			○
定期テスト	○	○	○
スピーチテスト、単語テスト	○	○	○
チャレンジ（暗唱）		○	○

3. 授業に必要な持ち物

Ⅰ年生	2年生	3年生
・教科書（Sunshine Ⅰ） ・英語ノート① ・ワーク（JOYFUL WORK BOOK） ・ファイル ・Word Book	・教科書（Sunshine 2） ・紙ファイル ・ノート ・エンジョイワーク	・教科書（Sunshine 3） ・ファイル ・英語ノート ・新英語のワーク ・整理と対策

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

- ①英語に毎日触れ、英語を聞く（歌でも可）。
- ②分からない単語は紙の辞書で引く。
- ③予習・復習をきちんとする。
- ④英語を声に出して読む。

5. 各学年の学習計画

	Ⅰ年	2年	3年
4月	○Get Ready 1-6 (6) ○アルファベットとローマ字 (3) ○Phonics (3)	○Program Ⅰ (8) 未来表現、動名詞 ○Step Ⅰ (1) 簡単な表現で言いかえよう	○PROGRAM Ⅰ (8) Japanese Bentos Are Interesting!

5 月	○PROGRAM1 (5) ・ be 動詞(肯定・否定・疑問) ・ Where の疑問文 ○Step1 (1) 発表上手になろう ○PROGRAM2 (5) ・ 一般動詞(肯定・否定・疑問) ・ 名詞の複数形 ・ When の疑問文	○Program2 (8) 接続詞 that, when, if ○Power-Up1 (1) 天気用法を聞こう will など復習	○PROGRAM2(8) Good Night. Sleep Tight. ○Step1 (1) 聞き上手になろう
6 月	○アクションコーナー (1) ・ 命令文 ○PROGRAM3 (5) ・ 助動詞 can(肯定・否定・疑問) ・ What の疑問文	○Step2(1) 魅力を伝えるためのコツを知ろう ○Program3 (8) 不定詞	○PROGRAM3(8) Hot Sport Today ○Power-Up1 (1) 電車の乗りかえ案内をしよう ○Step2(1) ポスターセッションの流れを理解しよう
7 月	○Step2 (1) 考えを整理し、表現しよう ○Our Project1 (4) あなたの知らない私 ○Power-Up1 (1) ・ Can I have～? / How much～? ○PROGRAM4 (5) ・ This[That] is～. ・ He[She] is～. ・ Who の疑問文	○Our Project4(4) 海外でヒットするラーメンの CM を作ろう ○Reading(4) ○電話をかけよう(1)	○Our Project7(4) パラスポーツについて理解を深めよう ○Reading1 (5) The Meaning of life ○Step3(1) ディスカッションの流れを確認しよう
8 月			
9 月	○PROGRAM5 (5) ・ 三人称単数現在の S ○Power-Up2 (1) ・ Which の疑問文 ・ Whose の疑問文	○Program4 (8) 感情の原因を表す不定詞 must, have(has) to～ ○Power-Up3 (1) レストランで食事をしよう	○PROGRAM4(8) Sign Languages, Not Just Gestures!
10 月	○PROGRAM6 (5) ・ him, her ・ Why の疑問文, Because～. ○Step3 (1) 話の組み立て方を考えよう	○Program5(8) how to～ look 形容詞 第4文型 ○Steps3 (1) わかりやすい見出しをつけよう	○PROGRAM5(8) The Story of Chocolate ○Power-Up2(1) ポスターから情報を読み取ろう ○Step4(1) ディスカッションで使う表現をおさえよう
11 月	○PROGRAM7 (5) ・ There is[are]～. ・ How の疑問文 ○疑問詞のまとめ (1) 疑問詞を使った疑問文 ○Power- Up3 (1) ・ Where is～? / Turn right, and～.など ○Step4 (1)聞き上手になろう	○Program6 (8) 比較級、最上級、as～as… ○Power-up4 メールで近況報告をしよう (1)	○PROGRAM6(8) The Great Pacific Garbage Patch ○Our Project8(4) レストランに SDGs の取り組みを提案しよう ○Power-Up3(1) ラジオの CM を聞こう
12 月	○Our Project2 (4) この人を知っていますか ○PROGRAM8 (5) ・ 現在進行形 ○Power-Up4 (1) ・ Can I help you_ ・ Do you have the same one in～?	○Steps4(1) 相手にわかりやすい説明をしよう ○Our Project5 (4) 日本のおすすめスポットを紹介しよう ○Reading2(4)	○PROGRAM7(8) Robots Can Improve Quality of Life ○Power-Up4(1) ウェブサイトで学校を紹介しよう ○Reading2(5) Malala' s Voice for the Future ○Special Project(2) 中学校の思い出を残そう
1 月	○PROGRAM9 (8) ・ 一般動詞の過去形 ○Step5 (1) 発表用メモを活用しよう	○Program7 (8) like を使う表現 teach など+人+how to～	○Futher Reading1 (3) A Birthday Present ○Futher Reading2(3) The Ig Nobel Prize ○Futher Reading3(5) Nakamura Tetsu

2 月	○Power-Up5 (1) ・一般動詞の過去形 (復習) ○PROGRAM10 (8) ・be 動詞の過去形 ・過去進行形 ○Step6 (1) ・There is[are]～. ・現在進行形 (復習)	○Program8(8) 受け身 ○Power-Up5 (1) 飛行機のアナウンスを聞こう ○Step5 説得力のある説明をしよう(1)	○3年間の総まとめ (10)
3 月	○Our Project3 (4) 私が選んだ1枚 ○Power-Up6 (1) ・手紙で使う表現	○Our Project6 (4) My Hero の魅力を伝えよう ○Reading3 (4)	○3年間の総まとめ (10)

音楽科

Ⅰ. 評価規準

I 「知識・技能」：音楽的な知識を理解すると共に、工夫して歌や楽器を演奏することができる。

II 「思考・判断・表現」：想いや意図を持って演奏表現を工夫できる。

音楽の要素やそれを聴いて感じたことについて、根拠をもって考えることができる。

III 「主体的に学習に取り組む態度」：意欲的に授業に参加し、規律を守り、協動的に学習に取り組める。

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	I	II	III
提出物の内容・授業の取り組み		○	○
歌唱・器楽における取り組み、表現の工夫	○	○	○
歌唱・器楽の実技テスト	○	○	
鑑賞における作業・プリント		○	○
定期テスト・実力テスト	○	○	

3. 授業に必要な持ち物

1 年生	2 年生	3 年生
教科書 ・ 中学校の音楽Ⅰ ・ 器楽 ファイル 2 冊 資料集 アルトリコーダー Chromebook 筆箱	教科書 2 冊 ・ 中学校の音楽 2・3 上 ・ 器楽 ファイル 2 冊 資料集 アルトリコーダー Chromebook 筆箱	教科書 3 冊 ・ 中学校の音楽 2・3 上 ・ 中学校の音楽 2・3 下 ・ 器楽 ファイル 2 冊 資料集 アルトリコーダー Chromebook 筆箱

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

- ・ 様々な音楽に親しみを持ち、豊かな情操を培う
- ・ 授業で大切だと思ったことは積極的にメモを取る
- ・ 苦手意識を持たずに、とりあえず挑戦し、様々な方法で表現してみる。
- ・ 授業時間が限られているので、アルトリコーダーやギター、歌などの練習に真剣に取り組む
- ・ 班やペアの生徒と、協力的に取り組む

5. 各学年の学習計画

	1 年	2 年	3 年
4 月	オリエンテーション (1) 歌唱：校歌 鑑賞：ジョーズのテーマ (計3)	歌唱：o sole mio 器楽：三線 (計6)	歌唱：花 器楽：クラシックギター (7)
5 月	歌唱：校歌 (1) 器楽：アルトリコーダー 鑑賞：春第 1 楽章 (計4)		
6 月	器楽：アルトリコーダー 歌唱：浜辺の歌 (計3) 合唱コンクールに向けて (1)	鑑賞：交響曲第 5 番ハ短調 歌唱：夏の思い出 (計3) 合唱コンクールに向けて (1)	鑑賞：オペラ (3) 合唱コンクールに向けて (1)
7 月	歌唱：合唱コンクールに向けて (3)	歌唱：合唱コンクールに向けて (2)	歌唱：合唱コンクールに向けて (2)
8 月			
9 月	歌唱：合唱コンクールに向けて 鑑賞：魔王 (計11)	歌唱：合唱コンクールに向けて (7)	歌唱：合唱コンクールに向けて (7)
10 月			
11 月	器楽：アルトリコーダー (3)	鑑賞：フーガト短調 (3)	歌唱：ブルタバ (3)
12 月	鑑賞：六段の調 (3)	鑑賞：歌舞伎 (2)	著作権隣接権について (1) 創作：コンピレーションアルバム (2)
1 月	創作：ボディパーカッション 器楽：アルトリコーダー	創作：ボディパーカッション 器楽：アルトリコーダー 歌唱：3 年生を送る会に向けて (8)	鑑賞：能 (2)
2 月	歌唱：3 年生を送る会に向けて 著作権について (計10)		歌唱：卒業式に向けて (8)
3 月	鑑賞：魔法使いの弟子 (2)	鑑賞：ミュージカル (3)	

美術科

Ⅰ. 評価規準

Ⅰ「知識・技能」：造形的な視点を理解するとともに、表現方法を工夫し創造的に表す。

Ⅱ「思考・判断・表現」：表現の意図と工夫、美術の働きについて考え、構想を練る。

また、美術に対する見方、感じ方を深める。

Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」：創造活動の喜びを味わう。豊かな情操を養う。

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
授業での様子、スケッチブックの扱い、提出物	○	○	○
宿題、作品、ワークシート等の課題	○	○	○
定期テスト	○		

3. 授業に必要な持ち物

1年生	2年生	3年生
教科書（美術Ⅰ） 美術資料、 スケッチブック、 絵の具セット	教科書（美術2・3上下） 美術資料、 スケッチブック、 絵の具セット	教科書（美術2・3上下） 美術資料、 スケッチブック 絵の具セット

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

- ・何事にも「新鮮な気持ち」で臨む
- ・「試しにやってみる」挑戦
- ・「うまいヘタ」を意識しない

5. 各学年の学習計画

	1 年	2 年	3 年
4 月	オリエンテーション (2) 鑑賞 (1) 素描 (1)	オリエンテーション (1) 素描 (1) 版画 (1)	オリエンテーション (1) 素描 (1) デザイン (1)
5 月	彩色の基礎、実技 (3) 色彩学習 (2)	版画 (4)	デザイン (3) 鑑賞 (1)
6 月	彩色の実技 (4) モダンテクニック実技 (1)	鑑賞 (1) デザイン実技 (3)	彫塑 (3) 鑑賞 (1)
7 月	モダンテクニック実技 (2) 鑑賞 (1) 期末テスト (1)	デザイン実技 (2) 期末テスト (1)	彫塑 (2) 期末テスト (1)
8 月	宿題	宿題	宿題
9 月	モダンテクニック実技 (3) 文字のデザイン基礎 (2)	造形 (3) 鑑賞 (1)	絵画 (6) 鑑賞 (1)
10 月	文字のデザイン基礎、実技 (4)	造形 (3)	
11 月	文字のデザイン実技 (4) 鑑賞 (1)	鑑賞 (1) 造形 (4) 期末テスト (1)	絵画 (5) 期末テスト (1)
12 月	文字のデザイン実技 (2)、 期末テスト (1)		
1 月	彫刻実技、基礎学習 (3) 鑑賞 (1)	デザイン (4) 学年末テスト (1)	鑑賞 (1)、 デザイン (1) 学年末テスト (1)
2 月	彫刻実技、基礎学習 (3) 学年末テスト (1)		デザイン (5)
3 月	鑑賞 (1)、彫刻実技 (3)	デザイン (3)	

保健体育科

Ⅰ. 評価規準

Ⅰ 「知識・技能」

体育：運動にかかわる一般原則や運動に関しての安全について理解している。および、各種目に応じた基本的な技能や動きができる。

保健：個人生活における健康・安全について、理解しているとともに、基本的な技能を身につけている。

Ⅱ 「思考・判断・表現」

体育：授業内で扱った運動について、自他の課題を発見し、問題解決の方法を工夫するとともに、その方法を実行したり、他者に伝えたりしている。

保健：授業内で扱った健康について、自他の課題を発見し、問題解決の方法を工夫するとともに、その方法を実行したり、他者に伝えたりしている。

Ⅲ 「主体的に学習に取り組む態度」

体育：運動に積極的に取り組み、自己の最善を尽くして主体的に運動している。

保健：健康の保持増進を目指して、明るく豊かな生活ができる。

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
授業の取り組み	○	○	○
提出物（授業プリント、ノート、課題）	○	○	○
実技（ゲーム、実技テスト）	○	○	○
定期テスト	○	○	

3. 授業に必要な持ち物

1 年生	2 年生	3 年生
体育館シューズ 教科書 中学体育実技	体育館シューズ 教科書、ワーク 中学体育実技	体育館シューズ 教科書、ワーク 中学体育実技

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

- ◎ 運動を楽しむこと。 (上手・下手や結果ばかりを気にし過ぎず、運動を楽しむことが大切です。)
- ◎ ベストを尽くすこと。 (常に自分のもっている全力で取り組むことが成長につながります。)
- ◎ 継続して頑張ること。 (「継続は力なり」です。3年間続けると必ず大きな力がつきます。)
- ◎ 仲間と力を合わせること。 (社会性として大切な、自己の考えを伝える力や相手の感情を配慮できる力がつきます。)
- ◎ 挑戦すること。 (失敗は成功のもとです。失敗を恐れず、挑戦する気持ち、最後まであきらめない気持ちが大切です。)
- ◎ スポーツに興味を持つこと。 (スポーツには多様な関わり方があります。スポーツを『行うこと』『見ること』『支えること』『知ること』が大切です。)

5. 各学年の学習内容

	1 年	2 年	3 年
4 月	体づくり運動 (7)	体づくり運動 (7)	体づくり運動 (7)
5 月	男：柔道 (9) 女：ハードル走 (9)	男：柔道 (9) 女：走り幅跳び (9)	男：長距離走 (9) 女：長距離走 (9)
6 月	男：ハードル走 (9) 女：なぎなた (9) 男女：体育理論 (3)	男：走り幅跳び (9) 女：なぎなた (9) 男女：体育理論 (3)	男：バスケットボール (9) 女：アルティメット (9) 男女：体育理論 (3)
7 月	水泳 (11)	水泳 (11)	水泳 (11)
8 月			
9 月	ダンス (9)	ダンス (9)	ダンス (9)
10 月	男：バレーボール (10) 女：サッカー (10)	男：バスケットボール (10) 女：ソフトボール (10)	男：走り高跳び (10) 女：バレーボール (10)
11 月	男：長距離走 (10) 女：マット運動 (10)	男：長距離走 (10) 女：跳び箱運動 (10)	男：ソフトボール (10) 女：走り高跳び (10)
12 月	男：マット運動 (6) 女：長距離走 (6)	男：跳び箱運動 (6) 女：長距離走 (6)	男：バレーボール (6) 女：サッカー (6)
1 月	男：マット運動 (5) 女：長距離走 (5)	男：跳び箱運動 (5) 女：長距離走 (5)	男：バレーボール (5) 女：サッカー (5)
2 月	男：サッカー (7) 女：バレーボール (7)	男：ソフトボール (7) 女：バスケットボール (7)	男：サッカー (7) 女：バドミントン (7)
3 月	男：サッカー (3) 女：バレーボール (3)	男：ソフトボール (3) 女：バスケットボール (3)	男：サッカー (3) 女：バドミントン (3)

◎保健分野

	1 年	2 年	3 年
内容	・健康な生活と病気の予防 (6) ・心身の発達と心の健康 (10)	・健康な生活と病気の予防 (6) ・傷害の防止 (10)	・健康な生活と病気の予防 (10) ・健康と環境 (6)

技術・家庭科

Ⅰ. 評価規準

- Ⅰ「知識・技能」：技術・家庭に関する知識や概念を身につけ、作業の場面で技術を生かすことができる。
- Ⅱ「思考・判断・表現」：意見交換やふり返りをしながら、創意工夫して作業したり、人に伝えたりできる。
- Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」：意欲的に授業に参加し、生活で生ずる諸問題に興味や関心をもって考えながら取り組んでいる。

2. 評価方法

【技術】

評価の材料	評価の観点		
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
授業中の態度・発表・提出物など	○	○	○
作品や提出物など	○	○	○
テスト	○	○	

【家庭】

評価の材料	評価の観点		
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
授業中の態度・制作や活動への取り組みなど	○	○	○
提出物とその内容	○	○	○
テスト（定期・実技）	○	○	

3. 授業に必要な持ち物

1 年生		2 年生		3 年生	
【技術】	【家庭】	【技術】	【家庭】	【技術】	【家庭】
・教科書	・教科書	・教科書	・教科書	・教科書	・教科書
・ノート	・ファイル	・ノート	・ファイル	・ノート	・ファイル
・chromebook	・chromebook	・chromebook	・chromebook	・chromebook	・chromebook

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

【技術分野】

- ・身の回りにある物に興味を持ちましょう。
⇒その物は誰が、どのように作り、どのような工夫がされているか考える。
- ・授業で学ぶ知識や視点を、実生活に取り入れましょう。

【家庭分野】

- ・日常の「なぜだろう？（疑問）」を大切にしましょう。
- ・自分の考えを自分の言葉で書くようにしましょう。
- ・自分の生活や行動と社会のつながりについて考えるようにしましょう。
- ・学習したことを自分の生活でどのように活用できるか考え、実践してみましょう。
- ・日頃からいろいろなお手伝いをしましょう。

5. 各学年の学習内容

	1年		2年		3年	
	技術科	家庭科	技術科	家庭科	技術科	家庭科
4月	ガイダンス ・技術って何だろう？(1) ・生活や社会と材料と加工の技術(1)	ガイダンス ・家庭科の学び方(2) 家族・家庭生活 ・今の自分とこれから(1)	エネルギー変換 ・生活や社会とエネルギー変換の技術(2)	ガイダンス (1) 衣生活 ・目的に応じた衣服の選択(1) ・上手な衣服の選択(1)	情報 ・情報セキュリティと情報モラル(1) ・双方向性のあるコンテンツによる問題解決(1)	ガイダンス 消費生活・環境 ・購入・支払いと生活情報(1)
5月	材料と加工 ・材料を利用するための技術1(4)	・今の自分とこれから(1) ・家庭のはたらきと家族の仕事(1) ・様々な家族・家庭(2)	・エネルギー資源の利用(3) ・電気の利用1(1)	・日常着の手入れと保管(4)	・双方向性のあるコンテンツによる問題解決(2)	・購入・支払いと生活情報(1) ・消費者被害と消費者の自立(1)
6月	・材料を利用するための技術2(1) ・問題解決の流れ(2) ・製作のための技能(木材)(1)	食生活 ・人間にとっての食事(2) ・食品と栄養素(2)	・電気の利用2(2) ・運動の利用(2)	・日常着の手入れと保管(2) ・衣服の文化(2)	・計測・制御による問題解決(2)	・消費者被害と消費者の自立(1) ・消費生活と社会(1)
7月	・製図(2)	・中学生の発達と必要な栄養(2)	・エネルギー変換の技術による問題解決(1) ・これからのエネルギー変換の技術(1)	・衣服の文化(2)	・これからの情報の技術(1)	・消費生活と社会(1)
8月						
9月	・実習(木材)(4)	・日常食の調理と地域の食文化(4)	・実習(ラジオ)(4)	・実習(被服)(4)	・実習(生物育成)(1) ・双方向性のあるコンテンツによる問題解決の実習1(1)	家族・家庭生活 ・幼児の心と体の発達(2)

10月	・実習(木材)(4)	・日常食の調理と地域の食文化(4)	実習(ラジオ)(2) 情報 ・生活や社会と情報の技術(2)	・実習(被服)(4)	・計測・制御による問題解決の実習1(2)	・発達にとってのおとなの役割(1) ・幼児にとってのあそび(1)
11月	・実習(木材)(4)	・日常食の調理と地域の食文化(2) ・実習(調理)(2)	・情報とコンピュータ(4)	・実習(被服)(4)	・計測・制御による問題解決の実習2(2)	・子どもの成長と地域・社会(1) ・ふれあい体験に向けて(1)
12月	・実習(木材)(2)	・日常食の調理と地域の食文化(1) ・実習(調理)(2)	・情報とコンピュータ(2)	・実習(被服)(2) ・持続可能な衣生活をめざして(1)	・実習(生物育成)・計測・制御による問題解決の実習3(1)	・ふれあい体験に向けて(1)
1月	・これからの材料と加工の技術(1) ペーパークラフト ・生活や社会と技術(2)	・献立作り(1) ・持続可能な食生活をめざして(1) ・人間にとっての住まい(1)	・情報とコンピュータ(2) ・情報の表現と伝達(2)	・持続可能な衣生活をめざして(1) 消費生活・環境 ・家庭生活と消費(1) ・購入・支払いと生活情報(1)	・情報の表現と伝達の実習(2)	・家庭生活と地域のかかわり(2)
2月	・生活や社会と技術(3)	・生活に必要な住空間(1) ・自然とともにある住生活(1) ・安全で健康的な住生活(2)	・情報セキュリティと情報モラル(3)	・購入・支払いと生活情報(3) ・消費者被害と消費者の自立(1)	まとめ(1)	・持続可能な家庭生活をめざして(1) ・まとめ(1)
3月	・デジタルな時代に生きていくアナログな技術の必要性(1)	・安全で健康的な住生活(1) ・持続可能な住生活をめざして(1)	まとめ(1)	・消費者被害と消費者の自立(1) ・消費生活と社会(1)	まとめ(1)	・まとめ(1)